

平成 31 年 1 月 7 日

各 位
プレスリリース

株式会社農業総合研究所

JAL x 農業総合研究所 ～空港集荷場開設に伴う業務委託契約締結について～

株式会社農業総合研究所（以下「当社」）と日本航空株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂祐二、以下「日本航空」）は、これまで連携して実施してまいりました、農産物流通事業*1において、さらなる流通量の拡大と物流の効率化を図るため、集荷場事業に関する、業務委託契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。



1. 事業概要

野菜、果物、その他の農産物及びこれらの加工品等（以下「農産物等」）の集荷を行う施設（以下「集荷場」）を空港施設内に設置し、集荷場の運營業務を日本航空に委託いたします。集荷した農産物等を、同社の航空輸送網を活用し、全国各地のスーパーマーケット等販売拠点へ配送を行うことで、産地直送農産物の流通経路・販売チャネルの拡大を図ります。

2. 業務委託の目的

・流通量の拡大

当社の集荷場事業において農産物等の出荷を促進し、出荷者の販売機会の創出を図るとともに、新規出荷者の獲得、出荷量の拡大を目指します。また、出荷量の拡大に伴い、日本航空の国内外の輸送網を活用し、販売チャネル拡大を図ります。

・物流の効率化

両社の持つ物流インフラとネットワークを活かした、スピーディーな輸送及び、農産物等の特性やニーズに合わせた物流を目指します。また、航空輸送により、良質な農産物等を鮮度を保った状態で都市部へ出荷することが可能となります。

3. 集荷拠点

『新千歳空港』 所在地：北海道千歳市平和

『旭川空港』 所在地：北海道上川郡東神楽町

なお、集荷場の開設時期につきましては、2019年5月頃を見込んでおります。
今後、両社は、札幌千歳空港ならびに旭川空港での実績を見ながら業務拡大及び、連携強化を図ってまいります。

*1参考（両社共同リリース）

- ①JAL x 「世界市場」 日本産農産物の世界への輸出拡大を目指し連携
(2017年7月12日) <http://press.jal.co.jp/ja/release/201707/004349.html>
- ②JAL x 農業総合研究所 x 世界市場 「NIPPON ICHIBA」を活用した農産物の輸出を開始
～北海道 帯広から香港へ初出荷～
(2017年8月29日) <https://www.nousouken.co.jp/934>
- ③JAL x 農業総合研究所 熊本の新鮮な野菜を北海道へ届ける取り組み締結について
(2018年3月9日) <https://www.nousouken.co.jp/1085>